

学校目標『元気いっぱい 自分から学び 共に高め合う西与賀っ子』の育成



にしよかっ子

令和 4年 9月12日 (月)

第8号 文責 校長 本村 一浩

☎ 0952-23-6300

㊦ここにあいさつする子 ㊧しっかり勉強する子 ㊨よろこんで働く子 ㊩からだをきたえる子 ㊪ながり学び合う子 ㊫ころをみがく子

■ 全校表彰の報告 おめでとう！

第2回目、第3回目の全校表彰をしました。7月20日の終業式と8月29日の始業式において以下の児童を表彰しました。西与賀公民館の宝蔵寺館長様から直々に賞状・賞品等を手渡ししていただきました。

県レベル以上（県、九州、西日本、全国など）の表彰を受けた児童、また逆に地域行事や地域代表として表彰された児童には、全校児童の耳目が集まる場で表彰しています。みなさん、おめでとうございます！！

コンクール等名	賞名	組、氏名
にしよか チャレンジラリー	にっしーシール 50枚獲得	6-1 北川 愛菜さん (7月20日表彰)
		6-1 植松 倫子さん、
		6-2 外尾 紗那さん、
		5-2 高林 和輝さん (8月29日表彰)



このお子さんたちは、地道に地域行事に参加し、数年がかりでにっしーシールを50枚貯めることができました。地域行事への積極性と、その努力に拍手です！

■ コロナ感染、学校のピンチ

夏休み中から少しずつコロナ感染の報告はあっていましたので、感染者は多いだろうと覚悟はしていましたが、実数については、蓋を開けてみなければ分からないと思っていました。8月29日（月）、蓋を開けてみたら、びっくりしました。全校児童の1割がコロナウイルス陽性となっていました。8月は、佐賀県内では連日、1,000人を超える新規感染者数が続きましたので、西与賀校区の児童だけが無傷ではいられない、と予想はしていましたが、2学期早々、学校のピンチです。

慌てて佐賀市教育委員会に相談すると、「文部科学省も『家庭由来の感染は、学級閉鎖等の事由にはしない。』と通達しているので、今すぐ臨時休校とか学級・学年閉鎖などを考える必要はないですよ。」とのこと。なるほど考えてみれば、陽性者数は多いものの、子供たちは学校に来ていないし、多くは友達と接触していないので、陽性者の周りの子が濃厚接触者に指定されるとか、発熱やのどの痛みなど、風邪症状の人が多数見られる、などの状況はまったくくないのです。感染の広がりが見られるわけではないので、しばらく様子を見ようと思いました。家庭由来で陽性者・濃厚接触者になって出席停止を余儀なくされている子には、リモート授業で対応しました。

すると、徐々に陽性者・濃厚接触者は減っていき、9日（金）には、陽性者がひと桁台、7人まで減少しました。今後は、校内で感染することのないように、これまで行ってきた基本的な感染予防対策を怠りなく続けていきます。2学期は、1～5年バス旅行、5年宿泊学習、6年修学旅行と、子供たちを一気に成長させる行事がたくさんあります。予定通り行えるよう、学びを止めないように気を引き締めて教育活動を行っていきます。



■ 9/10～9/16は「自殺予防週間」。

リバーやホームページでお伝えしたように、現在は「自殺予防週間」です。統計上、1年間を見渡したとき、9月上旬が最も自殺が多いことから、この期間となっています。長期の休みから、日々の授業に戻るときに、(ためていた宿題も含め)、高いハードルがあるように感じるのでは。2学期になってからの子供たちの様子を、学校と家庭で注視して、自殺の芽をみつめています！

別添2-3



文部科学省

保護者や学校関係者等のみなさまへ

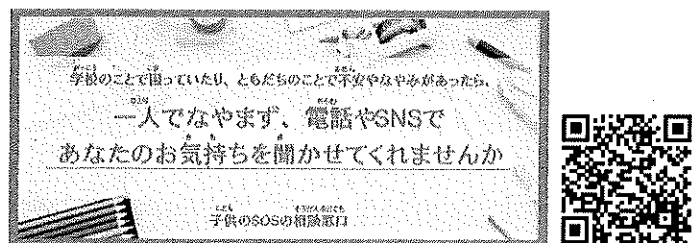
コロナ禍において、児童生徒等の自殺者数が大きく増加しています。また、長期休業明けには、児童生徒等の自殺者数が増加する傾向にあり、不安や悩みを抱える子供たちが増えることも考えられます。

- ・ これまでに関心のあった事柄に対して興味を失う
- ・ 成績が急に落ちる
- ・ 注意が集中できなくなる
- ・ 身だしなみを気にしなくなる
- ・ 健康管理や自己管理がおろそかになる
- ・ 不眠、食欲不振、体重減少などのさまざまな身体の不調を訴える

保護者や学校関係者、地域のみなさまにおかれましては、こうした子供の態度に現れる微妙なサインに注意を払っていただき、子供たちの不安や悩みの声に耳を傾けて適切に受け止めていただくとともに、学校、家庭、地域、警察や医療機関などの関係機関等で緊密な連携体制を築いていただきますようお願いいたします。

電話やメール、ネット等の相談窓口

(リンク先には学校や警察、児童相談所等の相談窓口一覧もあります。)



https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm

令和四年八月

文部科学大臣 永岡 桂子